

# Microsoft テレフォニー ソリューション

## 構内交換機 (PBX) 電話システム (Office 365)

電話システムは、Microsoft Teams や Skype for Business Online を使用した Office 365 クラウドでの通話コントロールおよび構内交換機 (PBX) 機能を有効にする Microsoft の技術です。電話システムは、Teams または Skype for Business Online クライアントおよび認定デバイスで動作します。Phone System を利用すると、既存の PBX システムを Office 365 で直接提供される機能セットと置き換えて、会社のクラウドと緊密に連携して生産性を向上させることができます。電話システムを公衆交換電話網 (PSTN) に接続するには、Microsoft の通話プランを選択するか、独自のテレフォニー通信事業者を選択することができます。

## エンタープライズ ボイス Skype for Business Server (オンプレミス)

エンタープライズ VoIP は、オンプレミスの Skype for Business Server での通話コントロールおよび構内交換機 (PBX) 機能を有効にする Microsoft の技術です。このオプションは、独自のテレフォニー通信事業者を使用してみ公衆交換電話網に接続できます。

## 公衆交換電話網 (PSTN) への接続

### 通話プラン (Office 365)

このオプションでは、Microsoft の Office 365 電話システムを公衆交換電話網 (PSTN) に接続して、世界中の固定電話や携帯電話に電話をかけることができますようにします。通話プランでは、Microsoft が PSTN 通信事業者です。

## 独自のテレフォニー通信事業者 (オンプレミスの Office 365 および Skype for Business) に接続する

このオプションは、Office 365 の電話システムまたはオンプレミスの Skype for Business のエンタープライズ VoIP システムのいずれかをテレフォニー ネットワークに接続します。このオプションには、サポートされているセッション ボーダー コントローラー (SBC) の展開と保守が必要、サードパーティ通信事業者との契約が必要、Skype for Business Server またはクラウド コネクタ エディションの展開と保守が必要

## どのソリューションが適しているか？

クラウド完結型、独自の通信事業者、またはクラウド完結型とサードパーティ通信事業者を組み合わせますか？

選択するソリューションは、現在および将来のニーズによって異なります。

- オンプレミスの展開で提供される機能を保持したいか、または保持する必要があるかどうか。

- ユーザーにどのクライアントを展開したいか。

- ユーザーをクラウドに移行させるための計画の内容。

- サードパーティの PBX や他のテレフォニー機器と相互運用する必要があるかどうか。

- ご使用の国での通話プランの利用可否。

**Microsoft テレフォニー ソリューションについて詳しくは、「Microsoft テレフォニー ソリューションの計画」の記事をご覧ください。**

# クラウド完結型ソリューションを選択するか、Office 365 を独自の テレフォニー通信事業者に接続する

## 開始方法

Microsoft では、Microsoft クラウド内の Teams の使用を開始する際に使用できるいくつかのオプションをサポートしています。いくつかの質問にお答えいただくことで、どの Microsoft テレフォニー ソリューション (クラウド内の電話システムまたはオンプレミスのエンタープライズ VoIP) が組織のユーザーに適しているかを判断し、組織を公衆交換電話網 (PSTN) に接続する方法を判別できます。では始めましょう。

以下の質問について検討してください:

- ☐ 既存の Skype for Business Server の展開はありますか？
- ☐ ユーザーがオンプレミスの Skype for Business、Skype for Business Online のクラウド、またはその両方に所属していますか？
- ☐ オンプレミスのユーザーをクラウドに移行しますか？
- ☐ Microsoft の PSTN 通話プランをお住まいの地域で利用できますか？
- ☐ 使用しているテレフォニー通信事業者を維持する必要がありますか？たとえば、既存の契約があるため、現在の通信事業者を維持する必要がありますか？
- ☐ 維持を希望する、または維持する必要がある既存のオンプレミスのレガシー PBX がありますか？
- ☐ 現在のレガシー PBX は、ビジネスに不可欠な固有の機能を提供していますか？
- ☐ いずれかのユーザーまたはすべてのユーザーが電話システムで現在提供されていない機能が必要としていますか？

ソリューションの選択:

### オプション 1

#### 通話プランが設定された電話システム

Teams または Skype for Business Online ユーザー向けのクラウド完結型

Office 365

Teams/Skype for Business ユーザー

電話システム

PSTN

- Microsoft 通話プランに国内および国際通話プランを追加することにより、世界中の電話機に電話をかけることができます (ライセンス認証を受けているサービスのレベルによって異なります)。
- PSTN 通話プランは Office 365 から動作するので、このオプションでは、オンプレミス展開の展開やメンテナンスは必要ありません。
- サポートされている SBC は、サードパーティ PBX、アナログ デバイス、および SBC との相互運用性のためにダイレクト ルーティングを経由して接続することも、サポートされている他のサードパーティ製テレフォニー機器と接続することもできます。

#### インフラストラクチャの要件

Office 365 への継続的な接続が必要	必要
世界中で利用可能*	必要
サポートされているセッション ボーダー コントローラー (SBC) の展開と保守が必要	必要
サードパーティ通信事業者との契約が必要	必要
Skype for Business Server またはクラウド コネクタ エディションの展開と保守が必要	必要

\*通話プランが利用可能な国の一覧については (ms/callingplans と呼ばれます)

#### 次のユーザー向け:

Microsoft Teams ユーザー  
Skype for Business Online ユーザー

#### 最適なソリューションかどうかをチェック

次の項目に当てはまる場合は適しています。

- 使用の地域で通話プランが利用可能である。
- 現在の PSTN 通信事業者を維持する必要はない。
- 公衆交換電話網 (PSTN) に Microsoft が管理するアクセス権を使用する必要がある。
- 自分のセッション ボーダー コントローラーの管理を希望しない。
- 組織で必要なすべての機能が Teams や Skype for Business Online に含まれている。

### オプション 2

#### 直接ルーティング経由の独自の通信事業者による電話システム

クラウド内の電話システム。Teams ユーザー向けのオンプレミス テレフォニー ネットワークへの接続

オンプレミス

セッションボーダーコントローラー (SBC)

電話番号範囲

サードパーティ PBX/テレフォニー機器

Office 365

Teams ユーザー

電話システム

PSTN

- サポートされている SBC は、オンプレミスのソフトウェアを追加することなく、直接 Microsoft 電話システムに接続できます。
- Microsoft 電話システムでは、事実上すべてのテレフォニー通信事業者を使用できます。
- 構成および管理は、顧客または通信事業者またはパートナーによって行うことができます (通信事業者またはパートナーがこのオプションを提供するかどうかを尋ねます)。
- サードパーティ PBX やアナログ デバイスなどのテレフォニー機器と Microsoft 電話システムの間で相互運用性を構成します。

#### インフラストラクチャの要件

Office 365 への継続的な接続が必要	必要
世界中で利用可能	必要
サポートされているセッション ボーダー コントローラー (SBC) の展開と保守が必要	必要
サードパーティ通信事業者との契約が必要*	必要
Skype for Business Server またはクラウド コネクタ エディションの展開と保守が必要	必要

\*通話プランが設定されている電話システムのユーザーが、サードパーティ PBX、アナログ デバイス、またはその他のテレフォニー機器との接続を提供するオプションとして展開されている場合を除きます。

#### 次のユーザー向け:

Microsoft Teams ユーザー

#### 最適なソリューションかどうかをチェック

次の項目に当てはまる場合は適しています。

- 電話システムによって Teams を使用する場合。
- 現在の PSTN 通信事業者を維持する必要がある。
- ルーティングを組み合わせる必要がある (一部の通話は通話プラン経由、一部の通話は通信事業者経由)。
- サードパーティ PBX やオーバーヘッド ページャ、アナログ デバイスなどの機器と相互運用する必要がある。
- 組織で必要なすべての機能が Teams に含まれている。

### オプション 3

#### SBC とトランクをホストする通信事業者に直接ルーティングを行う電話システム

クラウド内の電話システム。Teams ユーザー向けのサードパーティ電話ネットワークへの接続

Office 365

Teams ユーザー

電話システム

PSTN

- サポートされている SBC は、オンプレミスのソフトウェアを追加することなく、直接 Microsoft 電話システムに接続できます。
- Microsoft 電話システムでは、事実上すべてのテレフォニー通信事業者を使用できます。
- 構成および管理は、顧客または通信事業者またはパートナーによって行うことができます (通信事業者またはパートナーがこのオプションを提供するかどうかを尋ねます)。
- サードパーティ PBX やアナログ デバイスなどのテレフォニー機器と Microsoft 電話システムの間で相互運用性を構成します。

#### インフラストラクチャの要件

Office 365 への継続的な接続が必要	必要
世界中で利用可能	必要
サポートされているセッション ボーダー コントローラー (SBC) の展開と保守が必要	必要
サードパーティ通信事業者との契約が必要*	必要
Skype for Business Server またはクラウド コネクタ エディションの展開と保守が必要	必要

\*通話プランが設定されている電話システムのユーザーが、サードパーティ PBX、アナログ デバイス、またはその他のテレフォニー機器との接続を提供するオプションとして展開されている場合を除きます。

#### 次のユーザー向け:

Microsoft Teams ユーザー

#### 最適なソリューションかどうかをチェック

次の項目に当てはまる場合は適しています。

- 電話システムによって Teams を使用する場合。
- 現在の PSTN 通信事業者を維持する必要がある。
- ルーティングを組み合わせる必要がある (一部の通話は通話プラン経由、一部の通話は通信事業者経由)。
- サードパーティ PBX やオーバーヘッド ページャ、アナログ デバイスなどの機器と相互運用する必要がある。
- 組織で必要なすべての機能が Teams に含まれている。

### オプション 4

#### Skype for Business Server または Cloud Connector エディション経由の独自の通信事業者による電話システム

クラウド内の電話システム。Skype for Business Online ユーザー向けのオンプレミス テレフォニー ネットワークへの接続

オンプレミス

Skype for Business ユーザー

既存の PBX または Telco ゲートウェイ

Skype for Business Server

Office 365

Teams/Skype for Business ユーザー

電話システム

PSTN

- オンプレミスに展開された Skype for Business Server または Skype for Business Cloud Connector エディション経由で、サポートされている独自の SBC を Microsoft 電話システムに接続します。
- Microsoft 電話システムでは、事実上すべてのテレフォニー通信事業者を使用できます。
- オンプレミスの Skype for Business Server を既に持っている場合は、それを活用できます。そうでない場合は、Cloud Connector エディションというライトバージョンを展開できます。

#### インフラストラクチャの要件

Office 365 への継続的な接続が必要	必要
世界中で利用可能	必要
サポートされているセッション ボーダー コントローラー (SBC) の展開と保守が必要	必要
サードパーティ通信事業者との契約が必要	必要
Skype for Business Server またはクラウド コネクタ エディションの展開と保守が必要	必要

#### 次のユーザー向け:

Skype for Business Online ユーザー

#### 最適なソリューションかどうかをチェック

次の項目に当てはまる場合は適しています。

- ユーザーに対して Skype for Business Online を使用する必要がある。
- お住まいの地域で PSTN 通話プランが利用できない。
- 現在の PSTN 通信事業者を維持する必要がある。

**推奨事項:** ビジネス状況が変化した場合 (たとえば、PSTN 通信事業者を維持する必要がなくなった場合など)、オプション 1 または 2 を使用して Microsoft Teams に移行することを検討してください。

- メンテナンス費用の最小化
- Microsoft がリリースする最新機能へのアクセス

### オプション 5

#### 独自の通信事業者による Skype for Business Server でのエンタープライズ VoIP

エンタープライズ VoIP オンプレミス。Skype for Business オンプレミス ユーザー向けの、オンプレミス テレフォニー ネットワークへの接続

オンプレミス

ユーザー

Skype for Business Server

既存の PBX または Telco ゲートウェイ

PSTN

WAN

- サポートされている独自の SBC を Skype for Business オンプレミス サーバーのエンタープライズ VoIP システムに接続します。
- ローカルの存続可能性が必要な場合、使用します。
- Microsoft 電話システムでは、事実上すべてのテレフォニー通信事業者を使用できます。
- 展開して維持するための最も複雑なオプションです。

#### インフラストラクチャの要件

Office 365 への継続的な接続が必要	必要
世界中で利用可能	必要
サポートされているセッション ボーダー コントローラー (SBC) の展開と保守が必要	必要
サードパーティ通信事業者との契約が必要	必要
Skype for Business Server の展開と保守が必要	必要

#### 次のユーザー向け:

Skype for Business オンプレミス ユーザー

#### 最適なソリューションかどうかをチェック

次の項目に当てはまる場合は適しています。

- すべてのユーザーがオンプレミスのままである必要がある。
- 現在の PSTN 通信事業者を維持する必要がある。

**推奨事項:** ビジネス状況が変化した場合 (たとえば、PSTN 通信事業者を維持する必要がなくなった場合など)、オプション 1 または 2 を使用して Microsoft Teams に移行することを検討してください。

- メンテナンス費用の最小化
- Microsoft がリリースする最新機能へのアクセス

注:

- 複雑な環境や複数の手順での移行を管理するためのソリューションを設計する必要がある場合に備えて、4 つのオプションすべてを互いに共存させることができます。
- オプション 3 は、Skype for Business Server または Cloud Connector のいずれかでのみ展開できます。1 つの会社で Skype for Business Server とクラウド コネクタ エディションを共存させることはできません。